

船舶事故調査報告書

令和5年8月2日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突（棧橋）
発生日時	令和4年8月24日 07時35分ごろ
発生場所	熊本県天草市天草港（与一ヶ浦港区） 天草港与一ヶ浦防波堤灯台から真方位214°140m付近 （概位 北緯32°22.1′ 東経130°21.0′）
事故の概要	旅客船兼自動車渡船フェリーごしょうらは、着棧操船中、棧橋に衝突した。
事故調査の経過	令和4年9月26日、主管調査官（長崎事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	旅客船兼自動車渡船 フェリーごしょうら、132トン
船舶番号、船舶所有者等	136441、共同フェリー株式会社
乗組員等に関する情報	船長、五級（航海）
負傷者	なし
損傷	本船 右舷船尾部フェンダーに破損 棧橋 支柱に凹損、クッションローラに欠損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南、風力 1、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 高潮時
事故の経過	<p>本船は、船首を天草市御所浦漁港側及び船尾を天草港側とする両頭船で、船長及び機関士ほか2人が乗り組み、旅客10人を乗せ、車両2台を積載し、天草港（与一ヶ浦港区）に向けて御所浦漁港（本郷地区）を出航した。</p> <p>船長は、後継者育成を図る目的で、機関士に操船を行わせ、その操船状況を監督していた。</p> <p>船長は、入港準備に入り、船尾を着棧予定の棧橋（以下「本件棧橋」という。）に向け、本件棧橋の約40～50m手前まで接近した頃、船長が、本船の行きあしが速いと感じ、機関士に行きあしを減じるよう指示したものの、十分に減速できず、約2～3ノットの速力で、本船の右舷船尾部フェンダーが本件棧橋の支柱に衝突した。</p> <p>船長は、本件棧橋の約40～50m手前まで接近した頃、本船の行きあしが速いと感じて減速したものの、減速を開始する時機が遅かったと本事故後に思った。</p>
分析	<p>本船は、着棧操船中、船長が、本船の行きあしが速いと感じ、行きあしを減じたものの、行きあしを十分に減速できず、本件棧橋に接近を続けたことから、右舷船尾部フェンダーが本件棧橋の支柱と衝突したものと考えられる。</p> <p>船長は、本船が本件棧橋の約40～50m手前まで接近した頃、本</p>

	<p>船の行きあしを減じたものの、行きあしを減じる時機が遅かったことから、行きあしを十分に減速できなかったものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、着棧操船中、船長が、本船の行きあしが速いと感じ、行きあしを減じたものの、行きあしを十分に減速できず、本件棧橋に接近を続けたため、右舷船尾部フェンダーが本件棧橋の支柱と衝突したものと考えられる。</p>
再発防止策	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 船長は、着棧操船する際、早期に速力を確認し、行きあしを十分に減じてから着棧体制に入ること。